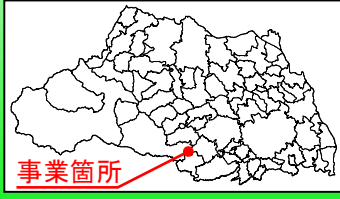


### 位置図



### 事業概要

事業期間	平成20年度～平成23年度	
総事業費	81,596千円	
工事延長	延長 L=456m	
事業内容	散策路	L= 143m
	修景護岸	L= 143m
	転落防止柵	L= 529m
	ヒメワダレウツ植栽	N= 1式
	その他	N= 1式

### 地域の声

以前は雑草に覆われていた水路がたいへん明るくなった。景観が良くなり散策する人が増えた。

### 事業経緯

- 赤間川用水地区検討会
- ・第1回 (H21.7.13)
  - ・第2回 (H21.8.27)
  - ・第3回 (H21.12.8)
  - ・第4回 (H22.2.10)
  - ・第5回 (H22.8.9)
  - ・第6回 (H22.11.15)
  - ・第7回 (H23.7.11)

調査・測量・設計  
(H20.11～H22.8)

工事 (H22.9～H23.6)

検討会メンバー： 近接団地自治会、県



### 地域活動

- ・市民清掃デー等に合わ地域住民により清掃活動を実施 年4回程度
- ・入間第二用水土地改良区が草刈りを実施 年2回程度

### 整備の状況



フェンスに囲われ水に近づけず住民が水路に関心を持ってない (H21.5撮影)



水路沿いに散策路を整備し、安全に水路に親しむことができる (H23.8撮影)

整備テーマ  
ポイント

にぎわいと安らぎがあり地域のコミュニケーションが図れる場所の創出

- ポイント①：安全を確保しつつ水に親しめる場をつくる
- ポイント②：周辺環境と調和した良好な景観をつくる

★：ビューポイント

防護柵の改修

道路や公園に面した箇所について周辺の景観に配慮しつつ水路への転落等を防止するため防護柵を改修しました。



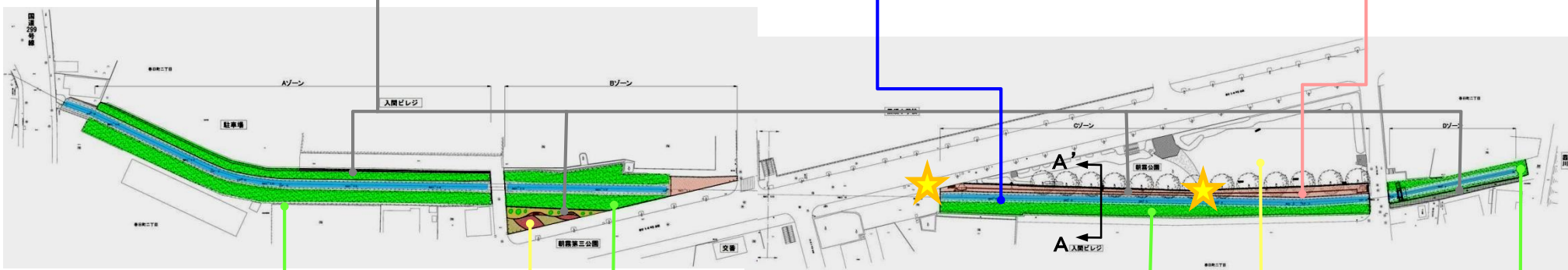
修景護岸

既設の間知ブロックに溶岩パネルを設置し、良好な景観を創出しました。



散策路の整備

公園に面した区間について、水路法面に散策路を整備し、安全を確保しつつ、水辺に近づける場を創出しました。



ヒメイワダレソウによる景観形成

水路法面にヒメイワダレソウの植栽を行い、良好な景観を創出しました。法面に繁茂することで雑草を抑制する効果もあります。



隣接施設の整備

水路に隣接する公園内の施設を整備し、地域のコミュニケーションを図れる場を創出しました。



横断面図

